

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

[ver.2]

2018年 03月 2日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 330-0072

所在地 埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9-103

評価機関名 株式会社シーサポート

認証評価機関番号

機構 13 - 223

電話番号 048-711-1020

代表者氏名 代表取締役 白井豊



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	白井豊	経営	H0405018
	②	石崎志津子	福祉	H1601062
	③	工藤堯子	福祉	H1302018
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	アウル宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	東京都杉並区宮前2丁目11番11号		
	TEL	03-5941-5112		
事業所代表者氏名	青木るみ子			
契約日	2017年 10月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2017年 10月 26日			
利用者調査結果報告日	2018年 1月 17日			
自己評価の調査票配付日	2017年 10月 26日			
自己評価結果報告日	2018年 1月 17日			
訪問調査日	2018年 2月 9日			
評価合議日	2018年 2月 19日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査・職員自己評価の結果報告にあたっては、専用ボックスの設置により個人が特定されないよう配慮している。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2018年 03月 2日

事業者代表者氏名

アウル宮前保育園

代表取締役 青木るみ子





No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	知・徳・体を総合的に育てる方針のもと様々な活動を体験できる保育を実践しています
	内容	「知・徳・体」を育てる保育方針がとられており、意識した取り組みとなるよう教育・保育課程をはじめとする各種計画が策定されています。国語教室、英語活動など外部講師を招いての教育がなされており、専用の工作室での制作など積極的に表現教育に取り組んでいます。またメリハリをつけた指導による生活習慣の習得、園庭やプールを活用した充実した戸外活動、趣向を凝らした食育など保育方針を具現化しており、子どもたちが様々な体験をできる環境が提供されています。
2	タイトル	安全・安心のための設備と衛生が保たれた保育環境が整えられています
	内容	道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、園児たちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられています。またロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されており、避難訓練の実施、安全管理マニュアルの設置、ドアや窓への事故防止設備など安心して子どもを預けるための環境が整えられています。園庭からダイレクトに入ることができるシャワー室や医務室、病児後保育事業の併設等々考察が重ねられた園内外の設計に子どもたちへの愛情と児童福祉に資する姿勢を理解することができます。
3	タイトル	言葉だけでなく実感も加えて職員の育成に取り組んでいます
	内容	年度の園内・園外研修計画が立てられており、職員心得に始まり、医務等の専門研修まで広い分野を想定して計画されています。また細かく設定した勤務体制・休憩所や更衣室の設置、行事の際の法人によるフォロー職員招へいなど、職員の労働環境の向上に取り組んでいます。また職員会議や日々の指導の中で法人の方針を教えるとともに法人内他園の生活発表会見学など言葉だけではわからないことを伝え、職員の成長をアシストしています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新しい園として・複合施設としてたくさんのアイデアが温められています
	内容	介護保険の地域密着型サービスと併設されていることから地域交流・世代間交流について重視したコンセプトがあり、開設1年目の園として保育の充実と地域貢献のためのアイデアが多数温められています。今後は、消防団との交流、園児の図書館訪問、高齢児のためのプール借用、高齢者施設との交流の深化などを検討しています。
2	タイトル	安全対策の充実を更に進める意向をもっています
	内容	安全・衛生のためのハード面については最高の設備が整えられています。開設より1年が経過しようとする中、ソフト面については更に充実させる意向をもっています。午睡時間中の避難訓練実施、緊急時マニュアル・不審者通報マニュアルの簡易掲示作成などが検討されており、特にマニュアルについては、絵に描いた餅とならないようチェック方式のものを採用することを思案しています。
3	タイトル	園への理解を更に深める取り組みを検討しています
	内容	子どもが安全・安心に過ごせる保育の提供に全力を尽くした1年でしたが、これらの経験を活かし、更に園への理解を深めてもらえる取り組みを検討しています。日々の活動や様子を見ることができる保育参観・入園後の個人面談、ICT化を活用した行事後アンケート、体験入園などが思案されており、職員と共に検討し、実現することが期待されます。



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	高齢者との交流を通して優しい気持ち・相手を尊重する心を育てています	
内容①	高齢者施設との複合施設として設置されており、すぐに交流ができる・身近に高齢者の生活を感じられる環境となっています。高齢者施設の運営にも携わるスペシャリストが園の管理に参画しており、保護者の心配を払拭し、無理のない交流・適切な対応がなされています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者の就労に配慮し、様々なサポートを実施しています	
内容②	1時間の延長保育を実施慣れ保育の短縮等、保護者の就労を考慮した支援にも努めています。また紙おむつの園での廃棄など衛生面だけでなく、なるべく保護者への負担を軽減できるよう取り組みを実施しています。また病児後保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者役員会の開催など積極的な意見収集に取り組んでいます	
内容③	意見箱が設置されているものの、送迎時等のコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めています。保護者会の役員会が定期で開催されており、保護者から直接要望を開ける貴重な場として活用されています。夏祭りは保護者からお手伝いをいただくなど温かい協力を得て、楽しい行事となっています。	



Ⅱ サービス提供のプロセス項目 (カテゴリー-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>4 / 4</b>
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>パンフレット、しおり等にて園の情報を発信している</p> <p>パンフレットのエントランスへの設置、法人ホームページでの紹介等を通して広く園の情報を発信している。入園のしおりには、理念・目標および活動内容等概要が丁寧に記されており、園の様子を理解することができる。また区のホームページにも一覧および園の概要が掲載されており、多くの方々が園の存在を知ることができるよう配慮されている。</p> <p>広報内容の見直しを検討している</p> <p>開園から約1年を経ることで、様々な修正点の認識がなされており、子ども・保護者への利便性や福祉の向上を図るべく、改善に努める意向をもっている。入園のしおりについても加筆の必要性を感じており、留意事項の徹底を図ることを検討している。またホームページについても日々の活動内容が伝わるページの創設を検討している。</p> <p>園の特色が伝わるよう見学者への説明に努めている</p> <p>見学希望の問い合わせが数多くあるため、園の活動予定を鑑み、日程を調整しながら対応を図っている。園の特長である「国語教室や英語活動などの教育的側面に注力していること」、「病後児保育を実施していること」等については丁寧な説明に努め、園の方針を理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		
サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>6 / 6</b>
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>		
<b>重要なお知らせ等を使用し、保護者への説明にあたっている</b> 入園時には説明会を開催し、入園にあたっての留意事項を説明している。利用時間、職員構成、緊急時対応等については「重要なお知らせ」を使用し説明しており、理解が深まるよう取り組んでいる。また初めて保育園を利用する保護者等に配慮し、説明会は早めに開催するなど保護者の不安に寄り添う運営にあたっている。		
<b>留意事項の周知徹底を図る意向をもっている</b> 入園時の説明については、保護者会費等の徴収など利用料金については特に誤解のないよう説明に努めている。また連絡先の明確化、保護者の負担等についても丁寧な説明に努め、トラブルが起こることのないよう取り組んでいる。開園よりの1年間の経験を踏まえ、しおりの改訂等留意事項の周知徹底を図り、地域の方々と共生できる園となるよう取り組んでいる。		
<b>安心してスタートがきれるよう配慮に努めている</b> 開園初期は、多くの園児がスタートを同じくすることから、管理職・職員一同が大切な時期を乗り越えるために園一丸となって取り組んできている。子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえること、保護者に寄り添う支援を念頭に安定した園運営が心掛けられている。今後は、就学による卒園児を輩出していくことから地域の小学校との交流や連携を図っていく意向をもっている。		
<b>サブカテゴリー3</b>		
<b>3</b>	<b>個別状況に応じた計画策定・記録</b>	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>12/12</b>
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当



評価項目2

保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

家庭からの情報収集と連携をもとに適切な保育環境の設定に取り組んでいる

入園時には家庭状況調査票をはじめ、子どもたちの健康・生活状態について書類を提出してもらいその後の園生活の環境を整えるために役立てられている。特に食物アレルギーをもつ園児に対しては、栄養士を中心に対応を図り、安全に生活できるよう対応を図っている。また職員は自身の担当クラスの子どものみだけでなく、園全体を把握できるよう日頃から情報共有に努めている。

知・徳・体の調和のとれた計画が策定されている

「教育・保育の課程」と題され、運営方針・目標・領域別のねらい等が策定されている。A3で7ページに渡る内容となっており、教育的事項や運営規程を含んだ充実した内容となっている。また、年齢別の指導計画は、4カ月のタームに分けられ、年間指導目標を落とし込むためにそれぞれの期間ごとにねらいが定められている。保育方針である知育・徳育・体育の調和のとれた子どもの育成について意識した取り組みとなるよう策定がなされている。

次期に繋げる計画となるよう見直しを図っている

年間指導計画をもとに月案、週案が策定されている。日々の保育との整合性が図れるよう管理と指導に努めており、年齢ごとに相関性をもった様式の変更を検討している。また期間ごとの反省や評価が次期に繋がるような仕組みの構築を目指しており、PDCAのサイクルを意識した運営が実践されることを目指している。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>プライバシーに配慮した設計・造りとなっている</p> <p>道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、園児たちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている。またロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されている。おむつ替え・着替え・プール活動等子どもの羞恥心に配慮するよう努めており、職員自己評価等を使用し、子どもたち一人ひとりの尊重についても指導・周知を図っている。</p> <p>子どもたちの模範となるよう職員の指導にあたっている</p> <p>職員は身近に接する大人として子どもたちの見本となることを求めている。特に言葉遣いについては、気になることがあれば管理職より指導し、適切な対応となるよう取り組んでいる。また子どもたちばかりでなく職員のプライバシーについても環境の整備に努めており、休憩室・更衣室等が準備されている。</p> <p>個人情報保護方針に利用と外部提供について記載している</p> <p>法人ホームページには個人情報保護方針が謳われており、その中で、「個人情報の利用について・個人情報の第三者への提供について」記載がなされている。個人情報保護法第23条に定める以外同意を得ることなく第三者に提供しないことを約しており、適切な取り扱いに取り組んでいる。</p>		

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

各種マニュアルを整備し、業務の標準化を進めている

看護、食育、英語活動、絵本の読み聞かせ、玩具点検、園庭管理などのマニュアルが整備されており、子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあたっている。また勤務時間帯別の業務マニュアルも設定しており、効率的かつ責任ある業務となるよう取り組んでいる。

マニュアルの新設・改訂を予定している

開園より1年が経過する中で、園にとって留意する事項、職員の育成にあたって必要な事項の把握がなされている。今後は業務の標準化に対して更に進める意向をもっており、特に子どもたちの安全・安心な環境整備については終わりが無いことを自認している。緊急時対応のマニュアル・不審者対応マニュアルの新設を予定しており、あわせて職員によるチェックができる様式についても検討している。

人員配置はバランスに配慮し、職員の育成に取り組んでいる

年齢別のクラスに対する人員配置については、職員の経験等を鑑み、バランスの良い職員体制となるよう努めている。また経験の浅い職員は、ベテラン職員とペアが組めるよう配慮し、成長できるよう後押ししている。充実した園内・園外の研修計画が立てられており、専門職としての自覚を更に伸ばしていけるよう取り組んでいる。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
サブカテゴリ-4			
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども同士が御互いを認め合い、尊重できるよう取り組んでいる</p> <p>取り組みとして異年齢保育を重視しており、保育室も柔軟に対応できる造りとなっている。異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指している。外国籍の子どもや保護者に対しても自然に溶け込めるよう配慮しており、習慣等の違いについても段階を追って慣れていけるよう取り組んでいる。</p> <p>関係機関との連携により支援に努めている</p> <p>配慮の必要な子どもに対しては子ども家庭支援センターや行政等関係機関と連携し、支援に努めている。巡回指導時など報告・連絡を通して情報の共有に努めており、密なる連携をもって子どもにとって最善の支援提供ができるよう協力している。今後は医療や発達障害について職員の研鑽に努める意向をもっており外部研修の活用等が検討されている。</p> <p>子ども同士のトラブル対処についてはあらかじめ説明に努めている</p> <p>成長の過程で起こる子ども同士のトラブルについては、入園前より園の方針を保護者に伝えており、子どもの気持ちを尊重し、皆で育てていく環境であることを理解してもらえるよう取り組んでいる。またかみつき等については、ヒヤリハット報告書等の回覧を通して注意喚起に努めており、要因分析をもって再発の防止策を講じるよう取り組んでいる。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

視診と健康チェックをもって子どもの状況を観察・記録している

登園時には顔色、状況を視診し、保護者とのコミュニケーション、体温測定をもって子どもの健康管理に努めている。また降園時以降の喫食状況についても連絡帳等にて確認し、常態を把握したうえで保育の臨むよう取り組んでいる。また保健計画の配布、園内の衛生・保健情報の掲示を通して家庭と連携しながら子どもの健康維持にあたっている。

家庭と連携し、基本的な生活習慣の習得にあたっている

トイレトレーニングについては園が主導するかたちで家庭に時期や方法を促し、無理強いすることなく自然に学べるよう取り組んでいる。また離乳食についても栄養士が中心となり、家庭での喫食状況を確認しながらメニューの策定がなされている。子どもたちの課題や成長の足跡については児童票に記録し、振り返りと見直しをもって計画的に進めるよう努めている。

子どもの成長を願う思いを保護者に伝えながらメリハリある保育を実施している

思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践している。午睡時のパジャマの着用、中履きの使用については、保護者に対して子どもたちの成長を願う園の思いを説明した上で実施している。また降園時の保護者への伝達については、最適な申し送り時間を検討し、的確かつ正確な連絡となるよう取り組んでいる。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する方を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

大きな集団での活動や就学を見据えた保育に取り組む意向をもってしている

就学後は大きな集団を経験した子どもたちや確定した日課で生活することに慣れている子どもたちと一緒に学ぶことになるため、対応した取り組みをしていく意向をもってしている。再来年度初めて卒園児を出すことから時間の区切りをしっかりと認識した活動を増やしていき、また小学校との交流等を増やし、十分な準備ができるよう思案している。

国語・英語活動等積極的な表現教育に取り組んでいる

国語教室、英語活動など外部講師を招いての教育がなされており、積極的に表現教育に取り組んでいる。またピアノにあわせての合唱、体操・ダンス教室など体を使って楽しむことも取り入れ、総合的な指導となるよう環境設定がなされている。また制作活動を集中して行える工作室も設置しており、ハード・ソフト共に豊かな情操を養える環境が整えられている。

恵まれた環境を活かした戸外活動が楽しまれている

園庭は土管を活用した遊具など工夫が凝らされており、訪問調査で伺った際にも元気に皆が遊ぶ姿を目にすることができた。また近隣には大小複数の公園や神社がある恵まれた環境にあり、ときにお弁当をもって皆ででかけるなど楽しい活動がなされている。また夏季のプール活動をはじめ、園庭からダイレクトに入ることができるシャワールームが整えられていることから思い切り戸外であそぶことに注力していることが伺える。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>細かな計画の立案により行事が実施されている</p> <p>年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画となっている。生活発表会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえる内容となっており、一大イベントとして園をあげて取り組んでいる。訪問調査時はちょうど準備期間にあたっており、保育に支障がでないよう法人からのフォローを受けながら進めていた。職員の気持ちのこもった取り組みに感動が生まれることが予想される。</p> <p>定期的な高齢者との交流がなされている</p> <p>高齢者施設との複合施設として設置されており、すぐに交流ができる・身近に高齢者の生活を感じられる環境となっている。高齢者施設の運営にも携わるスペシャリストが園の管理者に参画していることから保護者の心配を払拭し、無理のない交流・適切な対応がなされている。今後は更に密接な関わりをもてる取り組みの実施や隣接する別法人による高齢者施設との関わりなど発展的な取り組みを行っていく意向を示している。</p> <p>保護者にも参画してもらい運動会が開催されている</p> <p>近隣に大型の体育館を有する恵まれた環境を活かし、運動会・生活発表会に活用している。運動会は保護者や在園児の兄・姉にも参加してもらったり、多くの祖父母を招いたりと皆で楽しめる催しとしている。毎月の誕生会、クリスマス会、敬老会、お月見会など季節の行事を多様に取り入れ、伝統の承継にも寄与出来るよう取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>状況と子どもの体調に合わせた保育の実施に努めている</p> <p>0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている。また医務室の設置、看護師の配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されている。保育時間が長時間に渡る子どもや体調がすぐれない子どもに対しては散歩をやめ、静かな遊びを中心にするなど状況に合わせた対応を図っている。</p> <p>保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている</p> <p>一定の時間以降は、合同保育を実施しており、異年齢による遊びにおいても安全が確保されるよう職員の見守りがなされている。また水分補給についても注視しており、コップの目盛りを利用しながら適切な量を摂取するよう努めている。職員体制もしっかりと見守ることが出来る体制を築いており、職員間の連携、全園児の把握により安全・安心な延長保育となるよう取り組んでいる。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

給食会議にて職員の意見を集約し、日々の献立に反映している

職員会議の前には給食会議を開催し、子どもたちの嗜好、喫食状況、野菜の切り方や固さなどの提供状態の意見交換をし、より良い給食提供への参考としている。また栄養士が直接、実際の配膳や喫食状況を確認しており、連携をとりながら安全で健康な食事が実施されるよう取り組んでいる。おやつは手作りのものを提供するなど丁寧な対応が図られている。

細やかな配慮にて食物アレルギーへの対応に取り組んでいる

食物アレルギーを持つ子どもに対しては、給食会議での確認、保護者への通達、日々の確認がなされており、安全に対するオペレーションが確立している。また提供の際には、トレーの色やテーブルを状況に応じて変えるなど万全を期すよう取り組んでいる。また給食の保管時間についても徹底し、食中毒防止にあたっている。

食育への注力がなされている

子どもたちが食を身近に感じられるよう、米の栽培やおにぎり・うどんづくり、食材に触れるクッキング保育など多様な食育活動が取り入れられている。また恵方巻を提供するなど季節や伝統をメニューに取り入れるよう努めている。保育課程からも旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさや食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切にしていることが理解でき、園として食育に注力していることがわかる。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当



評価項目7の講評

看護師を中心に子どもたちの健康管理に取り組んでいる

看護師をクラス配置せず、全体を見渡せる立場をとることで園全体の健康・衛生管理にあたるよう環境整備をしている。朝の視診、体温チェック、清掃分担、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。また保健計画の立案、保健だよりの保護者への配布を通して保健衛生への関心をもってもらえるよう取り組んでいる。

病後児保育の実施がなされている

病後児保育(病気やけがの回復期にあつて、集団保育が困難な児童に対し、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等で行われる保育および看護)が併設されており、園および地域の保護者に寄与する活動がなされている。担当者の配置、専用の入り口、隔離室が設置されるなど安全対策についても万全を期している。今後は昼食提供など更なる支援向上を検討している。

安全な睡眠となるようチェックの実施と寝具への配慮がなされている

SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として、午睡時の定間隔でのチェックと記録、キッズベッドの使用など対策を講じている。また事故報告書、ヒヤリハット報告書が設置されており、要因分析、周知、情報共有により再発・事故防止に取り組んでいる。特にヒヤリハット報告書については、様式の簡略化をもって取り組んでおり、職員の意識の変革に成功している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

延長保育・病児後保育の実施により保護者の就労を考慮した保育を実践している

延長保育を実施、慣れ保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援にも努めている。また紙おむつの園での廃棄など衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるような取り組みを実施している。また病児後保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっている。

個人面談の実施を検討している

入園時には個人面談を実施し、各家庭の要望や意見を聴取している。また保護者会役員会の定期開催、保護者懇談会の開催により園の方針の伝達等がなされている。今後は、入園後の個人面談、保育参観についても実施を検討しており、職員・保護者の意見を聞きながら開催時期、時間等が決定されることが望まれる。

送迎時のコミュニケーションと連絡帳のやりとりを通して信頼関係の構築に努めている

登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して家庭での状況や健康状態の情報を把握している。また保護者が参加する行事等でもコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。夏祭りについては保護者からお手伝いをいただくなど温かい協力を得ているが、保護者の負担にならないよう配慮しながら進めている。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

併設の高齢者施設との交流は貴重な経験の機会となっている。

区の図書サービスの利用、公園や体育館の活用など地域の社会資源を使い、地域とともに子どもを育てる環境となるよう取り組んでいる。併設の介護保険サービスとの頻なる交流は高齢者と接することが少ない子どもにとって貴重な経験を積める機会となっている。また施設内だけでなく、地域の高齢者と関わることも今後の目標としている。

更なる地域交流に対してアイデアが温められている

介護保険地域密着型サービスと併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っている。事業計画への盛り込み、具体的施策の実施等そのコンセプトに沿った活動がなされている。今後は、消防団との交流、園児の図書館訪問、高齢児のためのプール借用など保育の充実と地域貢献のためのアイデアが温められている。

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>9/9</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>

カテゴリー1の講評

しおり・ホームページ等にて園の考えを示している

入園のしおり・ホームページには、教育・保育理念、教育・保育目標、基本方針、主な取り組みが紹介されており、新しい園の考えが伝わるよう示している。特に知育・徳育・体育と掲げた目標には、心身を健やかに育てる教育への注力が表れており、目指す高い保育を職員や保護者に伝えている。地域密着型サービスである介護保険施設と一体となった取り組みは、地域福祉の在り方を今後示していくものと期待する。

言葉だけでは伝わらないものを感じさせながら職員を指導している

アウル宮前保育園職務分担表と題し、園長以下の職務について明確化されている。園長は法人内の他園での保育・管理経験を活かし、若い職員をけん引しながら新しい園の運営に努めている。職員会議や日々の指導の中で法人の方針を教えるとともに法人他園の生活発表会を見学に行くなど言葉だけではわからないことを伝え、職員の成長を促している。

法人内会議での決定事項を伝え、方針・情報の共有化を図っている

法人本部および他施設との会議を2週間に1回開催しており、法人での決定事項を伝え、更にそれらを職員会議にて発信し、園全体で方針と情報の共有を図っている。園の中で年齢や役職で分断されることのないよう、各職務が相互に理解を深められるよう、責任を理解できるよう今後も指導を継続していく意向を示している。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

## カテゴリー2の講評

### 自己評価の実施により専門職としての自覚を高めている

職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールを整備している。自己評価結果からは、専門職としての自覚を見ることができ、今後も更に意識を高めていけるよう指導に努める意向をもっている。倫理規程が定められており、子どもの安全と健康を守るものとして児童福祉に資する姿勢が示されている。

### 規程を定め、ボランティアの受け入れ体制が構築されている

個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受入規程が設置されており、受入体制が整備されている。開園1年目であることから園運営の安定を第一にしてきたが、地域からの問い合わせが数多く寄せられていたことから今後園児と地域との触れ合い機会の増加を検討している。中学生の就労体験にも協力している。

### 区のネットワークに参加し、地域の課題解決に協調している

区の保育園長会、病後児保育連絡会、地域懇談会等のネットワークに参加し、地域の情報収集にあたるとともに地域の児童福祉の課題に対して協働して取り組むよう努めている。また他園への見学会に訪れるなど地域の各園の良いところを取り入れながら運営に活かせるよう努めている。本年度は開園初年度にもかかわらず福祉サービス第三者評価を受けるなど法人および園の意識の高さを感じる。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>利用者の声に耳を傾け、意見を運営への参考としている</p> <p>意見箱が設置されているものの、送迎時等で「コミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。保護者会役員会が定期で開催されており、保護者から直接要望を聞ける貴重な場として活用されている。また地域からの意見や要望についても必要に応じて保護者に伝え、地域と共存した保育が実践されるよう取り組んでいる。</p> <p>アンケートの実施を検討している</p> <p>来年度よりICT化を進める意向をもっており、それに伴い行事後のアンケート実施を検討している。アンケートの内容・項目・活用方法等を職員と検討し、有意義なものとして実施できるよう思案している。また法人は歴史ある園を有しており、経験や知識については惜しみなく導入され、本園の地域に即したかたちで利用できるよう工夫している。</p> <p>入園のしおり・重要事項説明書に苦情解決について記載している</p> <p>入園のしおりには、苦情解決責任者、受付担当者の氏名が明記されている。また重要事項説明書には行政等外部の窓口にご相談できることが紹介されている。第三者委員には弁護士が就任しており、苦情解決に対して園が重要視していることが理解できる。</p>		

カテゴリ-4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当



サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

細かな事業計画のもと運営が進められている

年度の事業計画は、保育活動、安全管理体制、職員研修、行事予定などが記載されており、園の活動を明示している。また入園のしおりにも同様の内容が掲載されており、保護者にわかりやすいよう工夫されている。来年度以降の構想についても練られており、未就園児の体験入園、卒園児との交流、実習生の受け入れ等具体的プランが思案されている。

リーダーを中心に計画および進捗の確認がなされている

園長の管理のもと月案・週案の策定がなされており、具体的保育の計画および進捗が確認されている。各種会合を通じて職員連携を図り、園全体で情報を共有しながら運営が進められている。特に年度の後期からはリーダーが中心となり各クラス間が密接に関わることで異年齢保育など互いに認識しながら進めている。保育および行事の内容を確認し、適切なクラス運営となるよう取り組んでいる。

子どもの安全が確保されるよう多様な取り組みがなされている

火災・地震・不審者などの想定のもと避難訓練が毎月行われている。また防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しており、子どもを安心して預けるための環境が整えられている。今後は午睡中の避難訓練実施などを予定しており、更なる充実を検討している。

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-5		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

園内のすべての子どもを把握できる職員の醸成に努めている

自身が担当するクラスの園児だけでなく、園内の全園児を把握できる職員となるよう指導に努めている。またどの年齢でも担任できるよう幅広い知識を身につけることを目指し、研修等の設定がなされている。クラス編成についても各職員の経験等を鑑み、適切な保育が実施できる体制の構築がなされている。職員会議についても日中から夕方に開催することで、できるだけ多くの職員が参加できるよう工夫している。

研修計画が設定されており職員の資質向上に努めている

年度の園内・園外研修計画が立てられており、研修内容・参加職員等が月別に示されている。職員心得に始まり、医務等の専門研修まで広い分野を想定して計画されている。研修参加後は、報告書を提出し、参加の成果を日々の保育に活かせるよう努めている。今後は新規採用職員を中心にマナーや保護者対応の研修を実施することを思案している。

独自の手当創設等職員の処遇向上に取り組んでいる

職務・職種による手当創設など職員の処遇向上に努めている。また勤務体制についても細かく設定しており、職員が働きやすいよう配慮したシフト作成にあたっている。特に行事の際には法人よりフォロー職員を呼ぶなど時間外労働の削減にも努めている。また休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。

カテゴリ7		
7 情報の保護・共有		
サブカテゴリ1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評		
<p>重要書類等適切な保管に取り組んでいる</p> <p>児童家庭調査票をはじめとする子ども・家庭に関する重要書類については、ファイリングし事務室の鍵付きのキャビネットにて保管がなされている。また保管書類だけでなく、連絡帳等についても入れ間違いを防止し、総合的に個人情報の保護にあたるよう取り組んでいる。今後は端末の導入により更に管理のしやすさや保護の徹底を図る意向をもっている。</p> <p>個人情報保護方針をホームページにて公開している</p> <p>プライバシーポリシーと題し、個人情報の取得・利用・第三者提供・開示請求について定め、公表がなされている。またボランティア受入規程にも受け入れ時の注意事項が定められている。個人情報の取扱いについて明確にし、適切な対応と園児および家庭の情報が保護されるよう体制の整備がなされている。</p>		

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

各クラスとの繋がりにより異年齢保育を意識した取り組みを充実させている  
 園長の管理のもと月案・週案の策定がなされており、具体的保育の計画および進捗が確認されている。各種会合を通じて職員連携を図り、園全体で情報を共有しながら運営が進められている。特に年度の後期からはリーダーが中心となり各クラス間が密接に関わることで異年齢保育など互いに認識しながら進めている。保育および行事の内容を確認し、適切なクラス運営となるよう取り組んでいる。またヒヤリハット報告書については、提出書類・方法の工夫により職員一人ひとりの意識を高めることに成功している。

サブカテゴリ-2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-5で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

働きやすい職場環境の提供に取り組んでいる  
 職務・職種による手当創設など職員の処遇向上に努めている。また勤務体制についても細かく設定しており、職員が働きやすいよう配慮したシフト作成にあっている。特に行事の際には法人よりフォロー職員を呼ぶなど時間外労働の削減にも努めている。また休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。

サブカテゴリ-3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-6で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

自己評価の実施を園全体の保育実施のプロセス向上に繋げている  
 職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールとして、また園全体の保育実施のプロセス向上の機会として役立てられている。自己評価結果からは、専門職としての自覚を見ることができ、今後も更に高まるよう指導に努める意向をもっている。業務の標準化についても市販のマニュアル類を揃えるのではなく、自己評価・チェックの充実をもって進める意向をもっている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

制度の活用等により収支バランスの向上を図っている

制度に精通した管理職のもと、助成金・補助金等の活用を図り、園全体の収支と福祉の向上を図っている。また太陽光利用の設備を導入しており、収支ばかりでなく省資源への取り組みも意識されている。今後は玩具や遊具についても更に充実を検討しており、職員の意見を聞きながら計画的に進める意向をもっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

役員会開催など保護者の意見を取り入れた運営に努めている

意見箱が設置されているものの、送迎時等のコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。保護者会役員会が定期で開催されており、保護者から直接要望を聞ける貴重な場として活用されている。また地域からの意見や要望についても必要に応じて保護者に伝え、地域と共存した保育が実践されるよう取り組んでいる。

[ver.2]

調査対象

全園児82名に対する全79世帯の保護者等を単位・対象として実施。

調査方法

アンケート方式  
事業所より利用者調査票を各世帯に配布。回収ボックスの設置、専用の提出用封書の配布等プライバシーに配慮した。

利用者総数	82
利用者家族総数(世帯)	79
共通評価項目による調査対象者数	79
共通評価項目による調査の有効回答者数	63
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	79.7

利用者調査全体のコメント

・園の総合的感想については、「大変満足」が49.2パーセント、「満足」が44.4パーセント、「どちらともいえない」が3.2パーセント、「不満」が1.6パーセント、「大変不満」が0パーセント、「無回答」が1.6パーセントとなっている。  
 ・行事の充実、園の雰囲気の良い、病児後保育の存在、カリキュラムの充実、管理職の統率、組織力、装飾の充実、食育の成果、柔軟な対応、給食の味、職員と子どもとの信頼関係等について賞賛・感謝の声があった。  
 ・行事後のお土産、面談の機会、様子を知る機会の増加、職員と保護者とのコミュニケーションの機会、ルールの統一、迅速な連絡、写真の公開、児童にわからないようにした参観、給食の量、自転車置き場の灯りと雨よけ、カリキュラムの充足、戸外活動の増加、職員の接遇、夏季の保育時間繰り上げ、食品の安全性確保等について要望・不満の声があった。  
 ・アンケートについては、活用への期待、保護者へのフィードバック、回収時期、個人特定への不安、定期的な実施等の意見があった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	61	1	1	0
「はい:役立っている」が98.6パーセント、「どちらともいえない」が1.6パーセント、「いいえ」が1.6パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。就労への集中の感謝、カリキュラムの充実、異年齢保育、高齢者との交流、集団への適応等の賞賛の声があった。自然な遊びの増加、個々への対応等の要望があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	59	3	1	0
「はい:なっている」が93.7パーセント、「どちらともいえない」が4.8パーセント、「いいえ」が1.6パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。季節の行事・英語教室・制作活動の充実等の賞賛の声があった。子どもの声の反映、制作活動の増加等の要望があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	6	0	0
「はい:配慮されている」が90.5パーセント、「どちらともいえない」が9.5パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。栄養への配慮、アレルギー対応、食材の多様さ、品数の豊富さ、季節感のあるメニュー、提供給食への信頼等賞賛・感謝の声があった。健康への影響、食事の量、補食の種類、食育への取り組み等の不満・要望の声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	57	4	2	0
「はい:関わっている」が90.5パーセント、「どちらともいえない」が6.3パーセント、「いいえ」が3.2パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。本物に触れあう機会の提供、カリキュラムの充実、野菜の栽培、高齢者との交流などへの賞賛の声があった。戸外活動の増加、芸術鑑賞の是非等の要望・不満の声があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	4	0	20
「はい:対応されている」が61.9パーセント、「どちらともいえない」が6.3パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が31.7パーセントの回答となっている。柔軟な対応への感謝の声が多数あった。また延長保育経験がない旨の意見もあった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	51	10	1	1
「はい:十分とられている」が81.0パーセント、「どちらともいえない」が15.9パーセント、「いいえ」が1.6パーセント、「無回答・非該当」が1.6パーセントの回答となっている。入退出の管理、対応への信頼、園児の把握等の賞賛の声があった。入り口の安全対策の向上、ケガ防止対策、避難方法の周知、安全対策の保護者への周知、保護者の送迎時の注意喚起等の要望・不満の声があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	53	6	2	2
「はい:十分である」が84.1パーセント、「どちらともいえない」が9.5パーセント、「いいえ」が3.2パーセント、「無回答・非該当」が3.2パーセントの回答となっている。事前連絡への感謝の声が複数あった。土日出勤の保護者への配慮、予定表の早期配布、参観の平日開催の是非、運動会の開催時間等への要望・不満の声があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	14	2	0
「はい:信頼関係がある」が74.6パーセント、「どちらともいえない」が22.2パーセント、「いいえ」が3.2パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。対応の良さ、報告の詳細さ等について賞賛の声があった。相談先の選定のむずかしさ、職員の年齢構成、子どもの成長への共感、個別面談の開催、食事量や健康状態の報告、個別相談機会等について不満・要望の声があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	63	0	0	0
「はい:行き届いている」が100パーセント、「どちらともいえない」が0パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。整理整頓されている・季節の装飾の多様さ等賞賛の意見が多数あった。職員の行動、物品の多さ、感染症への不安等の不満・要望の声があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	55	7	1	0
「はい:適切である」が87.3パーセント、「どちらともいえない」が11.1パーセント、「いいえ」が1.6パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。職員の挨拶に対する丁寧さや明るさについては、賛否双方の意見があった。適切な基準に対する疑問、職員による差異、職員の雰囲気についての意見もあった。				



11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	54	5	2	2
「はい:信頼できる」が85.7パーセント、「どちらともいえない」が7.9パーセント、「いいえ」が3.2パーセント、「無回答・非該当」が3.2パーセントの回答となっている。職員の接遇の良さ、丁寧な対応、服装の良さ等の賞賛の声があった。職員の身だしなみ、名札装着、職員の業務態度、声掛けの適切さ、職員による差異等の不満・要望の声があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	30	11	0	22
「はい:信頼できる」が47.6パーセント、「どちらともいえない」が17.5パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が34.9パーセントの回答となっている。丁寧な対応、危険の無さ、連絡の迅速さ、医務の丁寧な対応、通院対応等への賞賛の声があった。職員の気づき・見守りへの不満・要望の声があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	59	3	1	0
「はい:対応されている」が93.7パーセント、「どちらともいえない」が4.8パーセント、「いいえ」が1.6パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。偏食対応、対応の丁寧さへの賞賛の声があった。保護者優先の方針、平日と土曜日との差異について不満・要望の声があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	45	7	0	11
「はい:守られている」が71.4パーセント、「どちらともいえない」が11.1パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が17.5パーセントの回答となっている。保育上致し方ないとの意見があった。不明である旨の意見があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	49	13	0	1
「はい:わかりやすい」が77.8パーセント、「どちらともいえない」が20.6パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が1.6パーセントの回答となっている。連絡帳の丁寧さ、伝達のわかりやすさと工夫等の賞賛の声があった。更なる報告、保育内容の伝達、職員による差異について不満・要望の声があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	10	0	12
「はい:対応されている」が65.1パーセント、「どちらともいえない」が15.9パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が19.0パーセントの回答となっている。連絡帳記載の間違い、連絡帳記載事項への対応、職員・管理職の対応への不満・要望の声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	8	3	38
「はい:伝えられている」が22.2パーセント、「どちらともいえない」が12.7パーセント、「いいえ」が4.8パーセント、「無回答・非該当」が60.3パーセントの回答となっている。情報提供の無さ、再度の周知の要望があった。また特に必要としない旨の意見が複数あった。				



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)法人理念「みんなのために」 2)豊かに表現できる子(知育) 3)思いやりのある子(徳育) 4)元気で丈夫な子(体育)</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>「みんなのために」という法人理念に基づき、利用者のことを思い、利用者の家族のことを思い、職員の家族を思うことができ、そして地域に貢献するという意識の高い人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>専門職としての自覚を持ち、常に向上心を持って、自己努力をし続けること。</p>

